

- 目次
- 1 会長挨拶
 - 2 副会長挨拶
むなかた助産院 賀久はつ先生寄稿
 - 3 三部会報告
 - 4 委員会報告
 - 5 地区活動報告
 - 6 日本助産師会通常総会報告



社団法人福岡県助産師会
会長 平田 伸子

■ 2 期目を迎えて ■

浅学非才を顧みず、1 期目とは大きく異なる気持ちで会長 2 期目を迎えました。皆様のご協力をいただきながらこの2年間を努めて参りたいと思っておりますのでご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本会は組織結成の年齢からすれば相当の年期の入った集団組織であることはご承知の通りであります。一般的に結成歴の長い組織には固定化とマニュアル化が定着していることが多く、構成員の判断・行動も、「前例」や「慣行」の有無を拠り所として進められるようです。取り巻く環境が変化しないときは、このような慣例的な進め方がコストも最小限で済むために歓迎されてきました。会長 1 期目を振り返りますと「前例のない新しいこと」を定常的に判断・実施しなければならぬ局面が多々生じていました。このような中で、従来からの県補助金とわずかな会費収入の財源、そしてボランティア精神で乗り越えるには将来展望を描けなくなるのではないかと不安がよぎってしまいました。平成 22 年度の総会（5 月 9 日）では多くの建設的な発言をいただきました。組織は年月と共に発展をとげ、活力を発揮し続けると信じていたのですが、精神論だけでは会の役員を担う人材は登場してこないでしょう。意図的に手を加えて行かない限り、組織集団は硬直化して発展性が望めなくなることを懸念いたしております。

昨年は盛りだくさんの事業企画でしたが、よくここまでやれたなといった感がいたします。その一部として今回報告書を皆様にお送りいたしました。このように、今後も会活動の実績は形として残せる努力はしていきたいと考えています。地域社会からは、以前にも増して、助産師の力量発揮が求められるときが来ています。

意に反して、権威ある立場を利用した発言あったと・・・、もしそのような解釈がなされるならば、それは「権力はそれが奉仕する目的に必要な限り存在が許される」とお応えしておきたい。

最後になりましたが、昨年秋、元会長の賀久先生が“旭日雙光章”を受章されましたことは、助産師会としての誇りであり、これからも本会活動をご指導いただけることに感謝申し上げます。

『つながるいのち、ひと、組織』のスローガンが今年も承認されました。社会動向を踏まえつつ将来を見据えながら、組織内外においてなお一層の充実したつながりを持ち、他の職能団体の皆様と共に色々な面での行政当局からのご依頼にも応えるべく参加協力して参ります。今後とも皆様方のお一層のご指導ご協力を賜りますよう衷心よりお願い致しまして、会長就任のご挨拶に代えさせていただきます。



活動スローガン

昨年度は、“つながるいのち、ひと、組織”のスローガンのもと、組織改革、外部団体へは助産師会活動のアピールと連携を強化しました。平成 22 年度は昨年度に引き続き、同じスローガン、活動目標のもと、組織内部のさらなる充実をはかりながら福岡県助産師会会員であることの満足感が得られるよう、活動目標の実現に向けた活動を実施します。

むなかた助産院 賀久 はつ

お天道様は見ていた

3月7日、福岡県助産師会より私の旭日双光章受章に対し、温かい祝賀会を催していただき、誠に有難うございました。その余韻が残る4月15日、日本助産師会本部のご推薦で春の園遊会にお招きいただきました。

東京は5℃の寒さで襟元に冷風が吹きつける悪天候でしたが、会場の赤坂御苑はとても穏やかで、家族に守られて何の不安もなく過ごしていた懐かしい子どもの頃にタイムスリップしたようなホットな空間でした。

陛下は私の和歌「温かき 大御心に抱かれて 未来のいのち いや栄えなむ」に対し「ありがとう」と胸の奥に染み入るように仰せられました。

皇后様には昭和 60 年の秋、東宮御所で「母と子の守りとなりて 歩みゆかむ 尊き方の 御心を得て」と詠みましたが、そのように役目を果たしてきたことをご報告し、皇室をお手本に、親学の推進が必要な現状や、平和で心豊かな日本のためによりお産を守ることの大切さなどをお話させていただきました。

皇太子様、秋篠宮殿下、紀子様、高円の宮妃久子様もたくさんお話いただき、皇室の皆様は助産師の役割に大いに感心を示されました。特に紀子様は「助産師さんにお世話になりました」と繰り返し仰せになり、私も日本助産師会の 80 周年記念式典の折は素晴らしいお言葉を賜り、全国の会員一同心から感謝しておりますとお伝えいたしました。

両陛下は日本の父と母そのもので、国民はもっと両陛下をお慕いし、感謝を知ることが大切と思いました。





三部会報告

助産所部会

助産所部会長 寺田 恵子

■ 年間事業予定 ■

今年度は、3つの柱を立てている。

- 1、平成 23 年度の妊婦健診公費負担の交渉が大きな課題となる。平成 22 年度までは国の補助が有るが、平成 23 年度は市町村のみの扱いとなるため、額面等の変動が見込まれる。早期から対策に取り組み、良好なスタートを切りたいと考えている。
- 2、医療ネットワークへの参加。医療法改正により嘱託医療機関を定めるようになっているが、福岡県内の医療機関では、契約書の取り交わしを拒否される所もある。他県では医療ネットワークに加入する事でその要件を満たすという所もあるため、今年度は福岡県助産師会でもそのネットワークに参入できるように努力して行きたい。
- 3、事例検討会の開催。助産所のお産も、助産所ガイドラインにのっとり、より安全なお産への取り組みが求められるようになった。互いの情報を共有し、ヒヤリハット事例などを分析しあい、互いの経験を生かし合える部会となるように努力して行きたい。

保健指導部会

保健指導部会長 菱川 和江

■ 連絡とお願い ■

保健指導部会地区別会員名簿・地区担当者及び指導部会役員を決めて 2 年目です。

- 1、今年度は役員も早々に決まりました。地区担当者中心に連絡網を編成し、連携を充実したいと思えます。担当者用に共通冊子作成しましたので会議時ご利用ください。
部会長；菱川 和江、副部会長；松山 まどか、会計；野中 清子
- 2、活動方針は総会資料をご参照ください。助産師に求められる必須の実戦能力：本部発行の「助産師のコア・コンピテンシー」ぜひともお読みください(120 円で郵送)。
- 3、研修会・技の伝達会を充実します。

勤務助産師部会

勤務助産師部会長 伊藤 香織

■ 今年度活動内容 ■

「きらきら魅力ある助産師会」を目標に、多くの新規会員を集め、今加入している会員さんたちも「参加したい！楽しそう！一緒に考えていきたい！」と思える部会を目指します。

今年度は、まず現状を見つめなおすため、アンケートを実施していきたいと思っています。

いろいろな方の意見をきいて、集計し現状を見つめていき、改善していきましょう。

魅力ある助産師会をめざし！GO！



委員会報告

教育委員会

教育委員長 西本 サチ子

今年度の研修計画

昨年にひきつづき教育委員会は、会員スキルアップ研修、ファミリーサポート、国際助産師の日と三部門それぞれの委員が活動をしてまいります。

- | | | |
|------|-----------|---|
| 計画 1 | 研修 | 第4回虐待予防セミナー「北九州、筑豊」「福岡、筑後」とそれぞれの合同で講演及びシンポジウム、会員向け研修会 |
| 2 | ファミリーサポート | 子育て文化を語る会 |
| 3 | 国際助産師の日 | 早めに来年度の準備に取り掛かる予定 |

今年度のスローガン「つながるいのち、ひと、組織」の意味を十分に認識し、教育委員一同頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

広報委員会

広報委員長 嶋井 元子

報告

筑豊地区の稲富氏が広報委員長として総会で承認されましたが、稲富氏は今年、監事の役をされるので総会後に嶋井が委員長を引き受けることになりました。

ホームページも新しくなり助産師会の活動を内外へ発信していきます。

組織強化委員会

組織強化委員長 内田 美知代

今年度の取り組み

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 日本助産師会協力金 未納金の徴収 | 2. 福岡県助産師会館の維持・管理 |
| 3. 会館内の防火体制の整備 | 4. すくすく赤ちゃん献金への協力 |

H21 年度の日本助産師会館協力金 未納金の徴収は、19 万円でした。大事な特別会計より捻出しており各会員の協力をお願いしたいと思います。又、福岡県助産師会館は、老朽化のため修理箇所も多く、防火体制も強化していかなければなりません。これからも会員方の協力を得ながら、諸先輩方が大事に守ってこられた会館を維持・管理できるよう努力していきたいと思ひます。

安全対策委員会

安全対策委員長 寺田 恵子

年間事業計画

昨年度から年2回の講習会を持つようになりました。今年度も安全管理のための講習会を企画しています。6月と11月の年2回の講習会の予定です。内容に関しては現在検討中です。



地区活動報告

遠賀地区

遠賀地区理事 澁谷 貴子

活動紹介

遠賀郡は遠賀川の下流域に栄えた自然豊かな町ですが、歴史を紐解くと、旧筑前国にあり、北九州市西部と中間市も市制前は遠賀郡に属していました。そのため北九州市の経済圏として生活・文化面で北九州市とも親密な関係にあったようです。

遠賀地区は、遠賀郡（芦屋町・岡垣町・遠賀町・水巻町）と中間市の会員から成り昔からお産を取り扱う開業助産師が多い地区として、会員同士の連携も密であったと聞いています。現在は有床助産所が2か所、無床助産所が2か所、乳房マッサージでの開業が1か所あり、会員数9名で活動をしています。

長きにわたり、地域のお母様にご尽力された柴田助産院の柴田エミ子先生が、昨年ご高齢のため廃業されました。幸せなお産を多くのお母様が体験され、助産師も自然なお産の学びをたくさん受けました。その後輩の助産師の一人として、柴田先生に心より感謝申し上げます。遠賀地区の今年度の活動目標は、新会員とのコミュニケーションを充分にとる事です。先輩助産師から受け継いだ学びを深めるためにも、勉強会開催の必要性も感じています。「助産師の歩みと絆」を大事にした取り組みの一つとして、各個人の活動・抱負・助産院の紹介などをまとめた冊子作りをしています。

会員の輪を大切に、さらなる飛躍の年にしたいと思っています。

宗像地区

宗像地区理事 春高 裕美

活動紹介



宗像地区は会員数16名で、開業助産所部会3名、保健指導部会4名、勤務助産師部会9名という構成です。賀久はつ先生（写真は賀久先生の叙勲受章祝賀会）を中心に、年に2～3回むなかた助産院にて会合を開き、理事会報告・情報交換等を行っています。それに加え、去年は会員間で講師となり勉強会を行い、今年度も引き続き行っていく予定です。助産師として、お互いに高め合っていけたらと思っています。

📅 年間地区活動予定 📅

昨年度は、昭和の助産師のセミナー世話役として、地区会員と力を合わせた事で盛況に終了できた。このセミナーの準備段階で、互いに相談し合ったり協力し合った事で、地区のメンバーが互いを知り合う機会となり関係性が深まった。今年度は、その経験を生かし、地区で講演会を企画し、共に作り上げる何かに向かって努力して行きたい。また、勤務部会員も興味を持つ内容を地区会にも盛り込み、親睦を深めて行きたい。



平成22年度 日本助産師会通常総会報告

会場 埼玉県埼玉会館 日時 平成22年6月28日(金)から29日(土)

代議員 菱川 和江

詳細に関しては助産師2010年2月号および通常総会冊子を参照ください。

21年度事業報告承認、22年度事業計画承認、糺し、公益法人移管事項に関して活発な審議が行われた。1) 理事役員会に一任する、2) 再度定款の見直しを含め臨時総会を行う、3) 次年度総会まで審議を持ち越す、などと意見が紛糾したように見受けられた。最終的には1)に決定する。この件に関して強いて意見を述べさせていただければ、総会出席にあたり代議員は、昨年度の総会資料及び21年度理事・役員が会合を持ち、検討された結果が活かされていないようだった。当県は平田会長・寺田恵子代議員・菱川和江代議員3人で合議し、1)に賛成した。午後からの専門部会集会では各部会ともに百数十名参加；活発な意見交換がなされた。保健指導部では「経済的に自立した活動を行う」ことを目標と掲げ、現役80歳/82歳の開業助産師が地区住民から頼られていると発表していた。

2日目、1) 選挙管理委員報告より、当県から22年度推薦委員として寺田恵子さんが決定した、2) 各委員会報告に関しては次号助産師に掲載、3) 第66回日本助産師学会 1) 今助産師に求められていること；南野千恵子氏(地区理事に配布)ぜひ、お読みください、2) 子育て支援におけるチームアプローチ；吉田恵子氏《九州大学病院 子供の心診療部》、3) 一般演台 各委員会より、教育ポイント制もあってか、殆ど退席なし。総会・学会資料に関しては機関紙「助産師」に掲載されます。

1年間は代議員としての使命があります。よろしくお願いいたします。

代議員 寺田 恵子

平成22年度本部総会に参加。助産所部会の中での検討事案を報告する。

- 1、妊婦健診に関する全国のデータを集約してもらおう要望をだした。9月までには全国のデータをまとめるという報告を受けた。
- 2、医療ネットワークには44県加入している。今後このデータを取り寄せ、福岡県もネットワーク加入を目指したい。
- 3、助産師学会で自宅出産の実態調査が発表された。自宅出産に応じる場合、望ましい距離や所要時間が打ち出されたが、福岡県の実情として、県をまたいでの依頼が多い事を説明し、支部長に御挨拶の事や、他県の医療ネットワークに関する情報提供をお願いした。
- 4、公益法人化に向けて本部では準備を重ねている。機関紙などでその情報を流していく予定のため、今後の動きに注目されたい。

3 BELLE MAISON

人気のベルメゾン「ママ&ベビー」など、
出産・育児応援カタログを空いたスペースに
置かせていただけませんか？



ママ&ベビー（マタニティ）



出産祝いをもたらしたら見るカタログ

◎千趣会ベルメゾンでは、全国の産科産婦人科院・助産院様へオリジナルマタニティー衣料や、お悩み解消グッズ、産後のお祝い返しに便利なギフト贈答品などを載せた、魅力溢れるお勧めカタログ・上記の2種を無料で差し上げています。「専用500円割引お申込ハガキ」をセットした特別カタログもご用意していますので、来院のマタニティーさんに、きっと喜んでいただけます！

●カタログ設置に関するお申し込み・お問い合わせは…
千趣会サービス・販売株式会社 福岡オフィス（担当：藤丸）
フリーダイヤル 電話：0120-81-0860
フリーダイヤル F A X：0120-81-0088（平日：9時～17時）

地球の未来と子どもたちの為に

界面活性剤・蛍光漂白剤などの化学物質は一切使用していません。
安全でありながら抜群の洗浄効果があります。
洗剤・石鹼から受ける経皮毒がありません。



★ミラクルクリーナー-ZK

万動用途
クリーナー水 500ml 200ml分
1kg 7140円税別



★ミラクルクリーナー-ZK

万動用途
クリーナー水 500ml 40ml分
200g 2079円税別



★ミズ・クリーン

血液専用クリーナー
濃縮タイプ電解水
500ml 1260円税別

ミラクルクリーナー-ZKの作り方



① 500mlのスプレー容器に
ミラクルクリーナー-ZKを
スプーン一杯(5g)入れます



② 水道水を入れます。



③ よく振ったらクリーナー水
500mlの出来上がり。

詳しくはホームページをご覧ください

アミカ九州

http://www.amica-knet

アミカ九州株式会社

福岡市中央区大手門3-1-1
大手門高木ビル2F
(092)724-5500



乳頭キレットのケアに

赤ちゃんのおむつかぶれに



乳頭キレットならベビーバーユマドンナ

スキンケア指導で
人気です！

- お産セットに
- 産科での指導に
- 産院・母乳育児相談室で
- 母子訪問指導時に

- 全成分表示：
馬油・ミツロウ・パルマローザ・
トコフェロール（天然ビタミンE）
- 無着色・無香料
- 無香料タイプですが、植物の
パルマローザの香りがほんのりします。



天然成分100%

希望小売価格

4g / 238円(税込 250円)

25g / 1,100円(税込1,155円)

お徳用83g / 3,200円(税込3,360円)

ベビーバーユマドンナ
産院・助産師仕入価格 4g/200円(税込)

助産師さんと歩んで33年

発売元 YOUTH ユース産業株式会社 ☎0120-28-2267

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

産科用品の自動販売機

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用していただけます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます

投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます

GLORY
AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで、もちろん、千円単位も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も行えます。



本体寸法：(W×D×H)
800×645×1830mm・重量150kg



企画・発売元

SEBE セベ産科用品株式会社

〒816-0084 福岡市博多区福岡3丁目25-23 TEL:(092)501-0316(代)



1. 会費自動引き落とし手続きにご協力ください。

所定の申請用紙による手続きが必要です。申請書をお送りしますので、ご連絡下さい。

＜連絡先＞ 会計担当：濱崎 ヨシ子 E-mail：nioisumire425@kib.biglobe.ne.jp

TEL : 0942-34-6168

年会費：15,000 円（日本助産師会本部 10,000 円・福岡県 5,000 円）

※指定口座からの引き落としの時に残高不足だと引き落としが不可能になりますので、15,000 円以上あることをお確かめ下さい。

2. 新入会会員を応募しています。

入会申込み、申請書をお送りしますので、福岡県助産師会会計担当（上記）にご連絡下さい。

随時、入会者を取りまとめ本部へ手続きを行います。個人が直接、日本助産師会本部に手続きを行ったことによる不備が続きましたので、ご理解の程よろしくお願いたします。

新入会時は、年間費 15,000 円の他に入会金 10,000 円が必要です。

3. 規約改正のお知らせ

本年度総会にて、細則の一部（慶弔費規程、会館使用規定）が改正されました。

福岡県助産師会定款と細則（22 年度改定版）を同封しましたので御確認ください。

4. 組織図・役員名簿

平成 22 年度の組織図と役員名簿を同封しましたので御確認ください。

《編集後記》

平成 22 年 1 月に子ども・子育てビジョンが閣議決定しました。「若者が安心して成長できる社会」「妊娠、出産、子育ての希望が実現できる社会」「子育て力のある地域社会」「仕事と生活が調和（ワーク・ライフ・バランス）する社会」の実現を目指しています。平成 22 年 6 月 30 日には、育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正が、100 人以上を雇用する事業主は施行となり、子育て期間中の働き方等が見直されました。新政権が発足し、更なる母子保健の潮流がみられるでしょう。

ニュースレターでは、皆様の助産師活動を応援できるように、皆様の活動や新たな情報を紹介していきたいと考えております。紹介したい情報や活動等ありましたらお教えください。

広報委員 嶋井・澁谷・好村・坂本・新小田・椎葉



マタニティマーク



くるみんマーク
次世代認定マーク



九州子育て応援
シンボルマーク

（社）福岡県助産師会ニュースレター 第43号

2010年6月

発行人 社団法人 福岡県助産師会

会長 平田伸子

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025

<http://www.fukuokajyosanshi.com>